

## FREQUENTLY ASKED QUESTIONS 24-HOUR ADVANCE VESSEL MANIFEST RULE

Revised April 22, 2003

- 4月22日付け24時間ルールのFAQ改訂版。
- 脚注はすべて事務局によるもの。
- 正しくは原文を参照されたい。原文は米国国家安全保障省関税局（CBP）のウェブサイトより入手できる。

[http://www.customs.treas.gov/ImageCache/cgov/content/import/carriers/24hour\\_5frule/24hour\\_5ffaq\\_2edoc/v6/24hour\\_5ffaq.doc](http://www.customs.treas.gov/ImageCache/cgov/content/import/carriers/24hour_5frule/24hour_5ffaq_2edoc/v6/24hour_5ffaq.doc)

---

### 1. Enforcement Date :

**A)** 2003年5月4日からCBP<sup>1</sup>のエンフォースメント戦略はどのようなになるのか？

**回答：**24時間ルール遵守とは国家安全保障に係わる問題である。我々は、24時間ルールを真摯に実行している企業の努力を賞賛するものであり、まだ真剣に努力を行っていない企業に対して次のように警告する。すなわち、大企業であるか中小企業であるかを問わず、船社・NVOCCからの不完全な情報及び24時間前よりも遅い情報申告は容認されないと。我々はこのような船社・NVOCCに対して、顧客に5月4日からどのような対応措置が始まるか説明するよう促すものである。

**2003年5月4日**からCBP港（ports）は、不適切（invalid）な貨物説明が為されたときにはいつでも「Do Not Load」メッセージを発動する責任を持つことになる。このような非遵守貨物は、船社またはNVOCCに対する「Do Not Load」メッセージ発行の整合を取るため、ナショナル・ターゲッティング・センター（NTC：National Targeting Center）へ照会されることになろう。貨物についての不適切な説明と適切な説明については本FAQの30番目の設問において明確に例示されており、不適切な貨物説明の例として参照されたい。このエンフォースメント開始の主たる目的は、船社/NVOCCによって貨物の説明フィールドに適切な貨物の説明がインプットされるのを求めることにあり、マークや番号を含め他のものを求めているのではない。さらに、貨物に関連する説明はマニフェストの説明の第一行あるいは第二行目の最初またはHTSフィールドのいずれか適切な所にインプットされることをCBPは推奨するものである。

---

<sup>1</sup> 米国関税庁（U.S. Customs Service）は3月に国家安全保障省（Department of Homeland Security）の税関・国境保護局（Bureau of Customs and Border Protection）に移管されたことからCBPという言葉が使用されている。

また **2003 年 5 月 4 日**から、CBP 港は、24 時間前申告という時間規定に対する悪質な (egregious) 違反について罰金を科す権限が与えられる。港湾は貨物デklarেশヨン申告の時間規定を審査し執行 (エンフォース) する責任がある。ターゲットの選別は NTC を通じて調整される。罰則の発行は CBP 本部を通じても調整され承認される。

**2003 年 5 月 15 日**から、荷受人の名前と住所についての悪質な違反に対してエンフォースメントを発動することになり、これは CBP 本部の承認を得た「Do Not Load」メッセージ発行になる。荷受人説明要件は比較的明確に定義されているが、なお我々は悪質なエラーを体験している。すなわち、ブランクのままの入力フィールド、あるいは「To Order」及び「To Order of Shipper」という記述が使用されているのに対応する情報が入力されていないまま荷受人フィールド (例えば銀行名と住所) と通知人フィールド、あるいは住所が無い、不完全な住所 (市と州の名前だけ)、不適切な住所の荷受人名等々のエラーである。

これら選別された非遵守貨物ターゲットは、電子化された船社または NVOCC へ「Do Not Load」メッセージを発行する前に、整合性を取るため、あるいは (エンフォースメント発動の) 承認を得るために NTC (National Targeting Center) へ照会される。非遵守貨物を選別するに際して、経由貨物 (Foreign Remaining On Board Cargo) 及び保税運送 (貨物) は米国の住所をもっていないことを CBP は理解している。

また **2003 年 5 月 15 日**から、CBP 港は、不適切な貨物説明となっている経由貨物 (FROB) に対して罰金を科し、24 時間前という時間枠の中で CBP に申告せずに積み込みを行なった経由貨物に「Do Not Load」メッセージを発行する権限を与えられる。船社及び NVOCC は、マニフェスト要件に違反している船舶の到着毎に、罰金または清算損害 (Liquidated Damage) を科せられることもある。船社に代わって船長 (Master of Vessels) に、船舶の到着当り 19USC1436 (最初の違反について 5000 ドルの罰金、その後の違反については 1 万ドルの罰金) にしたがって罰金が割り当てられることになろう。NVOCC は、19CFR113.64(c) 及び 19CFR4.7(b) 及び / または 19CFR4.7a(c) にしたがって船舶の到着当り 5000 ドルの清算損害を請求されることになるだろう。もし、到着する船舶一隻で多数の電子化された NVOCC が FROB 貨物要件違反をしているのであれば、個々の NVOCC に清算損害が割り当てられる。

以上は、24 時間ルールに対する完全なコンプライアンスを確実にするため、CBP の段階的なエンフォースメント手続き次のステップである。

**30. 申告項目 7 貨物の説明：**第(vii)項では、「貨物の正確な説明および重量、または密閉コンテナについては、荷主の申告した貨物の説明および重量」が求められる。

**A)** 「密閉コンテナについての、荷主の申告した貨物の説明および重量」をキャリアは信頼できるという条件で、キャリアこの規則を全面的に支持していた。税関には、荷主がコンテナに積載した貨物の誤記についてキャリアを処罰する意図がないことを確認してほしい。

**回答：**税関に貨物申告情報を提供する当事者が、その情報が正確であるようにすることに責任を負う。税関は、密閉コンテナ及び荷主の積載量及び個数について、引き続きこの同じガイドラインを使う。税関はまず、キャリアについて詳細な整合性を見るが、繰り返し違反が発生する場合は、税関は 19 CFR 4.3a で示されている処罰を検討することがある。

**B) 質問：**何が貨物の精密な説明を構成するのか？化学製品（Compound、Mixture）の場合には化学式が必要となるか？

**回答：**本規則が求めているのは、貨物についての精密な記述的説明かまたは正しく分類を判断できる熟練を有しているならば 6 桁の関税番号である。6 桁の関税番号の正確性に疑問があるならば（正確性を確認するのはしばしば困難である）、精密な記述的説明が使用されるべきである。

精密な記述的説明とは、コンテナが映像検査装置（Imaging Equipment）を通過したときに貨物の中のいかなる異常物も確認できるよう、税関が申告された貨物の形状、物理的特徴、ありそうな梱包を確認するのに十分に精密な説明である。また、説明は、放射能を放出する可能性のあるいかなる貨物（Goods）をも確認できるよう十分に精密でなければならない。どの程度まで情報が具体的であるかは商品の性質に依存するものである。例えば、“エレクトロニクス”は精密な説明ではなく、“CD プレイヤー”あるいは“コンピュータ・モニター”ならば精密な説明と言えよう。

税関は、どのような説明が受け入れ可能か洗練させていくために今後も貿易業界と協力していく。税関は、求めている精密さのレベルが明確にされていない場合の説明についてはエンフォースメントを開始しない。商品が適切に説明されていないときには税関はキャリアに通知する。貨物の説明は、税関が精密にターゲティングするのを支援する上で最も重要な要素の一つであるので、できるだけ早く精密で協力的になることは貿易

業界の利益になる。このことは最終的なエンフォースメントを回避するだけでなく、コンテナの中に何が入っているか知る上で税関が安心できないことに起因するコンテナへの”do not load”メッセージ及び”ホールド”を回避することにもなる。

明らかなことは、次の説明はいかなる状況にあっても受け入れられない：説明がブランクとなっていること；”freight all kinds”または”FAK”；”said to contain”または”STC”；”general merchandise”；”26 pallets”；”various retail merchandise”；または”consolidated cargo”。2003年2月2日から、かかる一般的説明（準備期間中は使用し続けた）が船社またはNVOCCから提出されるならば、税関は強力なエンフォースメント（遵守強制）措置を開始した。下記表に掲げる用語は一つのガイドである。受け入れられる説明と受け入れられない説明の参考例であって全ての事例を完全に網羅するものではない。カッコ内の語句は例である。

Not Acceptable	Acceptable
Apparel Wearing Apparel Ladies' Apparel Men's Apparel	Clothing Shoes Jewelry(may include watches)
Appliances	Kitchen Appliances Industrial Appliances Heat Pump
Autoparts Parts	New Autoparts Used Autoparts
Caps	Baseball Caps Blasting Caps Bottle Caps Hub Caps

Not Acceptable	Acceptable
Chemicals, hazardous	Actual Chemical Name(not brand name)
Chemicals, non-hazardous	Or U.N.HAZMAT Code Identifier #
Electronic Goods Electronics	Computers Consumer Electronics, Telephones Electronic Toys(can include Gameboys, Game Cubes, Dancing Elmo Doll etc.) Personal/Household Electronics(PDA's, VCR's, TV's)
Equipment	Industrial Equipment, Oil Well Equipment Automotive Equipment, Poultry Equipment etc.
Flooring	Wood Flooring, Plastic Flooring, Carpet, Ceramic Tile, Marble Flooring
Foodstuffs	Oranges Fish Packaged Rice, Packaged Grain, Bulk Grain
Iron	Iron Pipes, Steel Pipes
Steel	Iron Building Material, Steel Building Material
Leather Articles	Saddles Leather Handbags Leather Jackets, Shoes
Machinery	Metal Working Machinery Cigarette Making Machinery
Machines	Sewing Machines Printing Machines
Pipes	Plastic Pipes PVC Pipes Steel Pipes Copper Pipes
Plastic Goods	Plastic Kitchenware, Plastic houseware, Industrial Plastics Toys, New/Used Auto Parts
Polyurethane	Polyurethane Threads Polyurethane Medical Gloves Personal Effects Household Goods
	Personal Effects Household Goods
Rubber Articles	Rubber Hoses Tires Toys Rubber Conveyor Belts
Rod	Welding Rod Rebar Aluminum Rods Reactor Rods
Scrap	Plastic Scrap Aluminum Scrap Iron Scrap
STC(Said to Contain) General Cargo FAK Freight of All Kinds "No Description"	
Tiles	Ceramic Tiles Marble Tiles

Not Acceptable	Acceptable
Tools	Hand Tools Power Tools Industrial Tools
Wires	Electric Wires Auto Harness Coiled Wire(Industrial)

**C)** 輸入時の分類と HTS の名称を利用したマニフェスト上の分類が一致しない場合、輸入者にとっての影響はどのようなものになるのか？

**回答：**不正がなければ、こうした状況で輸入業者が処罰を被る懸念はないと思われる。税関は、キャリアと協力して誤記を訂正し、事後監査を通じて特定の貨物説明が不正確であることをキャリアに通知することができる。そのキャリアが継続的に矛盾する情報を提出していて、かつ税関が日常的にそのキャリアにその問題について通知してきたと判断される場合は、処罰を検討することができる。矛盾する情報がある場合、輸入業者は、将来の提出では訂正がなされるように、不正確な分類について荷主に通知すべきである。

HTS ナンバーについては、税関は米国統一関税率表を参照している。どのナンバーを入力するかははっきりしない場合は、荷主が詳細な説明を提供できるはずである。

**D)** ボルスタータイプのコンテナ設備に詰められた貨物（すなわち上部と側面がオープンになった台状コンテナ）はコンテナ詰めされていると見なされ、したがってキャリアは「荷主の申告した貨物の説明および重量」に依存できるのか。

**回答：**貨物が目に見え、密閉されていないため、税関は荷主の積載量および個数（Shippers load and count）を受け入れない。